

企業の情報発信とその課題 ~Instagramの活用~

鹿児島大学 法文学部人文学科多元地域文化コース 2年 遠藤菜生

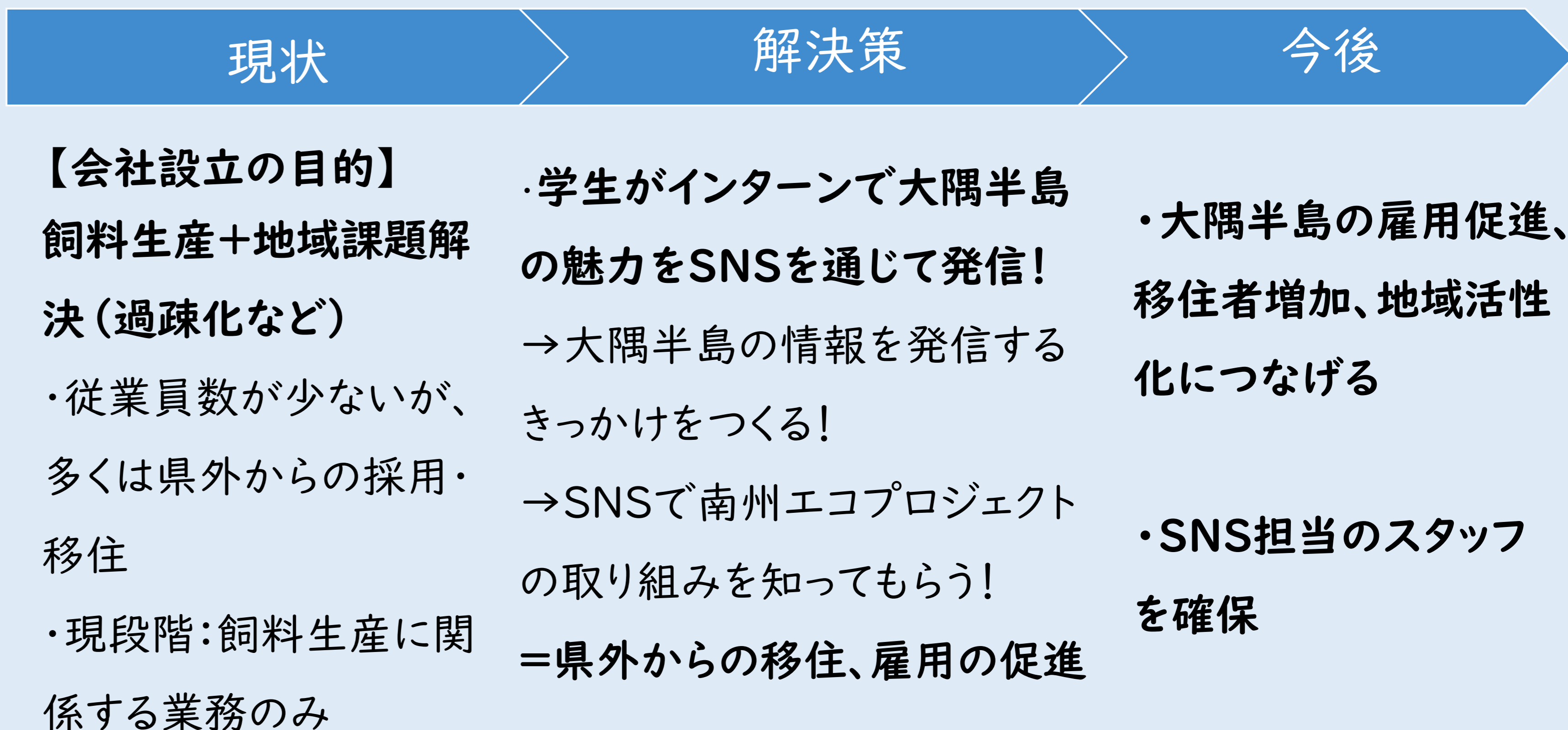
受入先:南州エコプロジェクト株式会社

- ・南州農場株式会社のグループ会社
- ・飼料から国産の畜産物を生産するために自給飼料生産をめざし、2021年に設立
- ・飼料生産に加え、耕作放棄地の活用、耕畜連携など地域の課題解決も行う

インターンシップの課題

大隅半島の魅力を、SNS (Instagram) を活用した、外部発信を行い関係人口の創出と、南州エコプロジェクトの国産濃厚飼料生産の取組について認知度向上を目指す

なぜ飼料生産を行う会社がインターンで地域の魅力発信を?



Instagramの現状と課題

現状

- 投稿の大半が農作業に関することである
- 企業の取り組みについてを紹介した投稿がほとんどない
- いいね数が10~20個前後で、投稿を見ている人はフォロワーがメイン(フォロワーも知り合いが多い)

課題

- 大隅半島の魅力発信についての投稿を増やす
- 企業の取り組みを分かりやすく伝える投稿を行い、企業について、投稿を見ている方々に知ってもらう
- フォロワー以外の人にも投稿を見もらう
- いいね数を増やす

解決策

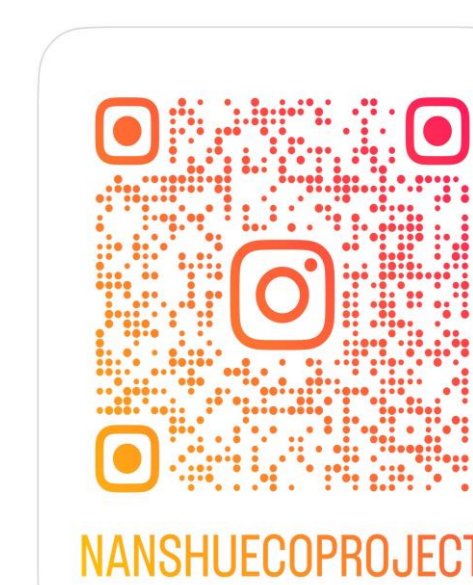
- ☆ 魅力発信についてはリールでの投稿を行う
- ☆ 大隅地域の様々な場所や食べ物、体験などを通して魅力を発信する
- ☆ 企業の取り組みについても投稿する

日程

前半: 8/21~8/25、
後半: 9/11~9/15
9/6 SNSセミナー

具体的な目標

- ・ インターン前半: 次のインターンまでに3日に1個のリール投稿
- ・ インターン後半: 1日2個のリール投稿
- ・ インターン全体: いいね数の増加→20以上のいいねを継続的にもらえること



☆アカウント
nanshuecoproject

インターン期間

前半

- ・ 企業の取り組みについて伺う
- ・ 役場、観光協会の方々に観光の現状について伺う
- ・ 企業があるサテライトオフィスの方々に話を伺う
- ・ Instagramで様々な投稿を見て、投稿内容を決める
- ・ 素材を集めるために写真や動画の撮影を行う
- ・ リールを作成する

SNSセミナー

なぜ多くの企業がInstagramを運営するのか?

→HPの情報や地図などの多くの情報を一つに集約可
→プロアカウントにすることでフォロワーの世代や住んでいる場所、よく見る時間帯などの情報を見て、分析することで投稿に役立てられる

投稿に行うべき工夫

→ハッシュタグ、リール作成のポイント、文字の場所など

後半

- ・ 投稿内容の確定とスケジュール立て
- ・ リールの素材の撮影
- ・ リールの作成、投稿
- ・ 投稿に対する反応の確認
- ・ インターンシップで行ったことのまとめ

結果と今後の課題

- ◎ リールを20個投稿した
- ◎ いいね数+フォロワー数やリールの閲覧数も増加
→最多(閲覧数:1,500回、いいね数:96)
最小(閲覧数:350回、いいね数23)
- × 企業の取り組みの認知度向上という目的はあまり改善できなかった
- × これからのInstagramの投稿についての方針を考案したが、実際に自分たちで実行することはできなかった
- ➡ 今後の課題: 企業の取り組みの認知度を向上させるための投稿を継続して行う

インターンシップ全体の振り返り

- 企業の取り組みを一般の方にSNSを通じて伝えるというのは、継続することや見ってもらうための工夫など、意外と難しいということを学んだ。
- SNSを運営し、投稿することで、普段何気なく見ているSNSの投稿にも、投稿者の工夫がなされていて、時間をかけて丁寧に作られていることに気づいた

個人としての振り返り

- ◆ 周りの人と協力し、自分にできることを考えて主体的に行動を起こせた
- ◆ 今後の課題としては、計画を立てて、計画をうまく変更しながら遂行していくこと



インターン先の南州エコプロジェクト株式会社様、ありがとうございました!
錦江町、南大隅町のみなさまにも大変お世話になりました!

